

図書館だより 2月

ワシントン日本語学校図書館 (tosho@wjls.org) 令和7年 2月号
開館時間 8時50分～16時

2月になりました。葉を落としてさみしげに見える梅の木の枝についている小さなつぼみも、少しずつふくらみ始めています。「お花見」というと、最初になにを思い浮かべますか？ずっと昔の平安時代の頃までは、「お花見」の花は、梅の花のことを表していたそうです。まだまだ寒いですが立春(3日)から雨水(18日)へ。待ち遠しい春はもうすぐです。

図書館では本の貸出が2月22日(土)★でおわり、その後からは年に1度行う「蔵書点検」がはじまります。「蔵書点検」とは図書館の本について、なくなっている本はないか、破れて修理が必要な本はないか、読めなくなった本はないかなど、1冊1冊手にとって調べる大変な作業で、とても時間がかかります。そのためしばらくの間図書館の利用ができなくなり、みなさんにはご迷惑をおかけしますが、ご協力お願いいたします。

★幼稚部の最終貸出日は異なります。下記をご覧ください。

幼稚部

貸出 → 2月15日まで

返却 → 2月22日まで

小・中・高

貸出 → 2月22日まで

返却 → 3月1日まで(12時まで)

最終貸出日と返却日
蔵書点検のご案内

3月1日から蔵書点検を行います。

①全ての本の返却を3月1日12時までにお願いいたします。

→全部返却されなければ、点検がはじめられません！

②蔵書点検期間中は、図書館の利用はできません。

→本が移動すると、どこまで作業したかわからなくなります。

ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

人気シリーズ貸出のご案内

「サバイバル/タイムワープ」「発明/実験対決」「漫画」については、生徒それぞれ1人1冊まで借りることができます。放課後対象の本が棚に残っている場合、保護者の方にも貸出できます。限られた本をより多くの生徒に利用してもらいたいため、皆様のご協力をお願いいたします。

私物図書をお預りしています

図書館では間違って返却された個人の本、他の図書館で借りられた本をお預かりしています。お心当たりのある方は、職員に声をかけください。

★図書館で1ヶ月保存し、お問い合わせがない場合は寄贈扱いとさせていただきます。

1月人気ランキング

あしなが文庫(～中学年)

- くじらがしんだら
- パンどろぼうとりんごかめん
ノラネコぐんだん ピザをやく
- おしりダンディザ・ヤング(9)
かいていからの SOS

あしなが文庫(高学年～)

- わたしが知る花
- ラストで君は「まさか！」と言う
きらめく夜空
(3分間ノンストップショートストーリー)
- 近畿地方のある場所について

1月の貸出状況

貸出利用者
生徒 689人
保護者 323人

貸出冊数 2,488冊

2月16日は「天気図記念日」。1883年2月16日、日本ではじめて天気図が作成されました。気象学者であり、船乗りでもあったドイツ人のエリヴィン・クニッピン指導のもと、東京気象台（後の気象庁）で作成されたことが由来となっています。当時は全国24ヶ所あった各測候所で定時に観測を行い、その情報を1日1回「気象電報」として送信され、天気図が作成されていました。今回は天気に関わる本を集めました。ぜひ手にとってみてください。



「しずくのぼうけん」 マリア・テルリコフスカ
(福音館書店)

バケツからびしゃんと飛び出した水のしずくは冒険の旅へ。お日さまにぎらぎら照らされて水蒸気になったかと思ったら、空にのぼって雲のところへ。今度は雨になって地上に逆戻り。地上では岩のあいだにはさまって、寒い夜に氷になったかと思えば、朝のお日さまに温められて再びしずくになって、川へと流れ出します。気温や場所によって変化する水の不思議を、描いたかぐの絵本です。
(対象年齢：幼児から)



「やまださんちのてんきよほう」 長谷川義史
(絵本館)

やまだ家的一天を天気予報とともに描くユーモア絵本。きもちを天気であらわすと、雨もあれば台風もある！かみなり、なだれ……。笑顔にしてくれる元気な絵本です。
(対象年齢：幼児から)



「てんきよほう かぞえうた」 岸田衿子 (福音館書店)

ひとつ ひのひかり ひろいちきゅうをひとまわり ひともひとでもひるまのびのび身近な天気予報を素材にした、楽しいかぞえうたの絵本。どうぶつ村の明日のお天気は？ 愉快なことばあそびもいっぱい。
(対象学年：幼児・小学校低学年から)



「くもとそらのえほん」 五十嵐美和子 (PHP研究所)

きょうのそらのくもは、どんなくもでしょう。大雨をふらせたり雷をおこしたりする「にゅうどうぐも」。綿のようなふわふわの形をしている「わたぐも」。飛行機がとったあとにうまれる「ひこうきぐも」。精緻に描かれた美しいイラストとテンポの良い文章で、雲の変化の様子や種類が一目でわかります。
(対象年齢：幼児・小学校低学年から)



「天気の子」 新海誠 (角川文庫)

高校1年の夏、帆高（ほだか）は離島から家出し、東京にやってきた。連日降り続ける雨の中、雑踏ひしめく都会の片隅で、帆高は不思議な能力を持つ少女・陽菜に出会う。「ねえ、今から晴れるよ」。それは祈るだけで、空を晴れに出来る力だった――。天候の調和が狂っていく時代に、運命に翻弄される少年と少女が自らの生き方を「選択」する物語。



「台風にのる（フリズル先生のマジック・スクールバス）」 ジョアンナ・コール (岩波書店)

気象の調べ学習をしていたフリズル学級は、気象台見学にでかけようとしたのですが、スクールバスが突然熱気球に変身し、台風のまただ中につっこんでしまいました。生徒が一人行方不明になったり危険な見学に…。
(対象学年：小学校中学年から)



「博士の長靴」 瀧羽 麻子 (ポプラ社)

ままならない天気も、家族も、人生も、すべてを慈しみながら、わたしは生きたい。天気の研究に生涯をささげた藤巻博士。季節の楽しみを存分に味わいながら生活する博士一家と、彼らとの出会いで変化していく周りの人々を描いた連作短編小説。変わりゆく時代の中で、自分の力で変えられないものに翻弄されながらも、毎日力強く生きる人々へ贈る物語。巻末に、藤巻博士一家が行っている「二十四節気」の楽しみ方を収録。



「最高にすぎずぎる天気図鑑」 荒木健太郎 (KADOKAWA)

おもしろくてためになる、天気に関わる知識を、今回も図解やイラスト、写真をふんだんに使って詳しくご紹介します。「雲と生活」「空と文化」「気象と気候」「天気と防災」の4章で、ジャンルを飛び越えたシームレスな内容をお届け。いま話題の気候変動や異常気象、AIによる予報などの最新気象事情がもりだくさんです。巻末では、気象ランキングや気象庁がほこる最新観測機器も見られます。



「ドラえもん科学ワールド 天気と気象の不思議」 (小学館)

巨大台風、ゲリラ豪雨、竜巻、酷暑、記録的な大雪など、日本に住む私たちの身近だけでも、異常な気象現象が頻発しています。一体なぜ、今まで起こらなかったことが起きようになったのでしょうか？気象のメカニズムと現在の気象の状況、気象観測と予報に関して、最新の情報を盛り込んで説明します。
(対象年齢：小学生・中学年から)



「異常気象 天気のしくみ」 (学研)

明日の天気が知りたくなる！ゲリラ豪雨、竜巻、スーパー台風など、災害をもたらす身近な気象現象を一挙解説。雲のでき方はもちろん、美しい虹や危険な雷のしくみなどさまざまな天気の基本がよくわかり、調べ学習にも最適の一冊。
(対象年齢：小学校低学年から)

